

自然、温泉等の地域資源をつなぎ回遊性のある、県北-2 巡れる温泉街づくり

高湯温泉周辺地区

福島市

県北建設事務所
計画期間:H16~H21

地域づくりの方針

『自然と温泉と暖かい心、昔から高湯が持つ豊かさを大切に、助け合いながら地域全体で取組む地域づくり ～自然・温泉・人の地域共生～』を地域づくりの方針とし、自然ときれいな星空と調和した、潤いとやすらぎのある、昔ながらの情緒豊かな山里の湯のまちとして、地域住民、来訪者に愛される地域づくりを目指す。

主な事業内容

高湯温泉街の回遊性向上のため

散策路

を整備しました。



事業概要図



地域の現状

磐梯吾妻スカイラインの福島側の入り口にあり、風光明媚で、夜景、星空もきれいな地区です。近くには、自然を満喫し散策できるスポットが多く、宿泊施設以外にも共同浴場のあったか湯が所在し、総合的な温泉保養観光地です。

地域資源に恵まれている地区ですが、それらをつなぎ、地域を回遊させる仕掛がないことや沿道景観も整理されていないことなど、高湯の持つ魅力が十分に発揮されていません。また、ゴルフ場跡についても、高湯の将来を考える上で、とても重要で、その利活用が課題となっています。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・地元と一体となった地域づくりを進めるため、「高湯湯けむり懇談会」を設立。
- ・懇談会による地域調査。（地元に住んでいて気付かない魅力を発見）

平成17年

- ・「高湯湯けむり懇談会」を開催。
- ・地元による温泉公園整備。
- ・歩行空間整備。

平成18年

- ・「高湯湯けむり懇談会」を開催。

平成19年

- ・「高湯湯けむり懇談会」を開催。

平成20年

- ・「高湯湯けむり懇談会」を開催。

実施した感想

（県担当者）

■本事業を進めるプロセスが今後標準的な手法になると思われるが、職員が肌で感じ、苦労し、ものにしなければならぬと思います。

（高湯温泉観光協会長）

■元気ふくしま事業を契機に始めた「高湯湯けむり懇談会」は、高湯では初めての試みでしたが、地元をまとめ、やる気を起こす場として非常に有効でありました。高湯は元気ふくしま事業で元気になったと思っています。

地域のよろこびのメール

まちづくりの総まとめである歩道が形を現してきましたが、温泉地区の景観の様変わりを見張るものがあります。

色も統一され、周遊散策というスペースも狭いながらも確保され温泉保養地としての景観が整ってきました。

これはポイントとしての共同浴場や温泉公園など施設を整備しただけでは生まれなかった景観だと思います。

また県道70号線高湯街道の温泉に至道筋も温泉地区の歩道ガードレールと同様の改良工事がなされ、ふもとからの統一感が出てきました。

これらのまちづくり施策が具体的なかたちとなりました理由は地元での十分な話し合いと、その話し合いを元に各行政所管を越えた懇談グループが機能したからだと思います。

（上記は平成17年11月16日に高湯温泉協会から知事に送られたメールの内容を抜粋したものです。）

事業の効果

■地元の新たな取り組み

- 地元では県道沿線に積極的に植栽(ブナ、ナナカマドなど)を行い、景観整備を実施しています。
- ポスター作成、HPリニューアル等積極的にPR活動を実施。
- 温泉組合が温泉公園、不動滝散策路の整備や外灯のリニューアルに取り組んでいます。

◆ あったか温泉公園 ◆

共同浴場あったか湯の50メートル上に整備された公園。地区内の散策には、休み処スポットとして利用される憩いの場である。公園内には温泉の池「湯溜り」があり、高湯の温泉を気軽に見ることが出来る。この温泉の池は各温泉旅館浴槽と同様、完全放流型掛け流し方式で毎分100リットル、湯温度41度の白濁した温泉が惜しげもなく掛け流されている。また公園からは、あったか湯源泉の「滝の湯」を見下ろす事ができ、自然への興味と驚きは尽きない。この土地は廃旅館が建っていた土地で温泉地の中心にあり、まちづくりの整備をするにあたっては必須の課題場所であった。関係者の協力を得ながら完成までこぎつけたが、そこまでの経緯については皆の努力の賜物といってよい。公園は緑化植栽中で、将来は周囲の森と同化すれば地元の目標は達せられる。公園利用の際の駐車場は、200メートル先右に観光協会駐車場があるので、そちらをご利用いただきたい。



元気づくりの立役者たち

高湯温泉



地域の課題・今後の展望

- 温泉利用客がピーク時（H16）より19万人減少。
- 定期バスが廃止され、観光客は高湯温泉を通過してスカイラインへ行ってしまふ。
- 高湯3滝へ散策に訪れる観光客が増えているので、散策路の整備が必要。

などの課題があり、これらを解決するための方策を検討し、さらなる高湯温泉への交流人口拡大を目指します。

整備内容及び利用状況

散策路工



施工前



施工後



施工前



施工後

利用状況

(利用者の声)

- 「あったか湯」を中心にして、温泉街をスムーズに移動できるようになりました。
- 道路を歩く観光客が増え、回遊性が出来てき、喜ばれています。
- あったか湯から温泉宿まで、散策する人が増えました。
- 道路右側（山側）の側溝に蓋が無く、大型バス等が脱輪を恐れ谷側へ寄ることから、歩行空間が確保できない状況にあるため、側溝に蓋を掛け、歩行空間を確保してほしいです。
- 整備した歩行空間を車道と色分けしてほしいです。

関係機関

- 福島県県北建設事務所 企画調査課
- 福島市吾妻支所
- 高湯温泉観光協会

TEL : 024-521-7642

TEL : 024-526-3351

TEL : 024-591-1125